

## 全世界80社以上におよぶ導入実績をもつ クレマー社のテレコム業界向けソリューション

英国に本社を置くクレマー社は、インベントリ統合によるITシステムの合理化、フルフィルメントプロセスの効率化・高速化、サービス・アシュアランスの改善、ネットワーク投資の最適化、そして激変するマーケットへの対応とNGN（次世代ネットワーク）への対応など、テレコム業界の最も重要な課題に対して、最適なソリューションを提供し、これまでTier 1、2を中心に、ブリティッシュ・テレコム（英国）、ボーダフォン（アイルランド）、KPN（オランダ）、テレフォニカ（スペイン）、ベル・カナダ（カナダ）、ベル・サウス（米国）、テルメックス（メキシコ）をはじめ、欧州、米国、アジア太平洋地域を含む、全世界で80社以上の事業者を採用されている。ここでは、ブリティッシュ・テレコム社の事例と、クレマー社の各モジュールについて紹介する。

### NGNに対応する次世代 オペレーション・プラットフォーム -ブリティッシュ・テレコム社-

英国の最大手通信事業者であるブリティッシュ・テレコム社（以下、BT社）では、オールIP、オール・オプティカルな新世代のネットワーク・インフラストラクチャ21CN（21st Century Network）の実現に向けて、現在、大規模な変革プログラムを実施している。この英国全土をカバーする超巨大ネットワークの移行をスムーズかつ確実なものにするためには、移行プロセス自体をオペレーションから隠蔽することが必要である。BT社は、英国国民の生活インフラを担う通信事業者の責任として、ネットワークが旧来のカバー網であれ移行済みのIP over Optical網であれ、その差異を意識せずに、従来通りの正確さと速度でフルフィルメントやサービス・アシュアランスのオペレーション・プロセスを運用していくことがBT社の至上命題となっている。そのためには、カバー網の上に構築されたレガ

シーネットワークとIP over Optical網の上に構築されつつある新世代のネットワークの両方を完全にカバーして、ハイレベルなオペレーション・サポートを提供しつつ、OSS（オペレーション・サポート・システム）領域の多数のレガシーシステムとの統合を実現する必要がある。このような困難な課題に対するソリューションとしてBT社が選択したのがクレマーである。

BTでは、マルチサービス、マルチテクノロジー、マルチベンダーの環境に完全対応するクレマーの柔軟なフレームワークを活かし、「クロス・ドメイン・マネージャ」というコンセプトを適用した。そして、ネットワーク・インフラストラクチャやそれを直接管理する既存システムの仕組みはそのままに、テクノロジー毎に細分化された各システムに

対する上位レイヤーとして、クレマーを導入し、ドメインをまたがるコンソリデーションを実現した。その結果、例えばオーダーマネジメントシステムでは、テクノロジー毎の詳細やネットワークの差異による下流プロセスの分岐・バリエーションを気にせずに、クレマーだけをインタフェース対象として完全に合理化されたシステム連携を実現できるようになった。あるサービスにおいては、お客様のサイトが旧来のカバー網の地域なのか、IP over Optical網に移行済みの地域なのかによって実際のフルフィルメントのプロセスは全く変わってしまうが、このようなネットワーク状態によるプロセスの複雑化をクレマーが完全に隠蔽するので、オーダーマネジメントシステム側はプロセスと連携したインタフェースを簡略化・標準化できるようになる。

現在、BTではクレマーと企業間の包括的合意を交わし、ネットワーク・プランニングやサービス・アシュアランスについても同様の「クレマーによるクロス・ドメイン・マネージャ」を

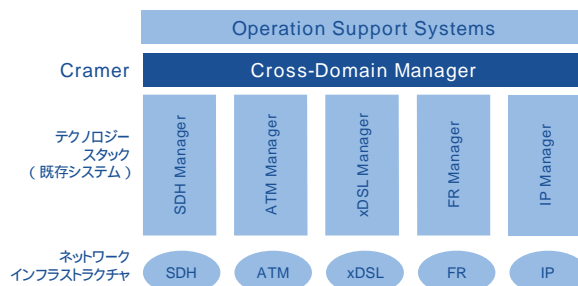


図1 クロス・ドメイン・マネージャの概要



図2 クレーマーのモジュール・デザイン

導入する計画を推進している。クレーマーはBTにおけるNGNを実現するための全社規模でのフレームワークになろうとしているのである。

### 多様なネットワークプロセスをサポートする中核機能としてのインベントリ

クレーマーはインベントリ・ソリューションを提供しているが、これらは、回線の入在庫や機器・設備の個数や構成を把握するためのデータベースシステムではない。インベントリをデータベースのレコードとして考え「それを管理する」というデザインでは、OSSの中でリソースマネジメントシステムに求められている要件に対応できない。OSSにおけるリソースマネジメントは、回線や機器・設備をデータとして管理するだけでなく、対象に関して他のオペレーション・システムがどういう情報を必要とするか、どういう連携が必要となるか、という全体的

な視野に立ったプロセスサポートを提供する必要がある。例えばオーダーマネジメントシステムに対しては、テクノロジーやネットワーク環境に依存した技術的詳細はなるべく隠蔽し、サービスの提供という観点に絞り込んだ形で情報を提供する必要がある。また、サービス・アシュアランスに関しては、個別のポートや回線といった非常にスペシフィックな詳細部分の情報から最終的な顧客に対する影響範囲といった大きなレベルでの情報に至る関連付けをサポートする必要がある。そして、アクティベーションの領域では、様々なテクノロジーに対応する様々なベンダーから提供されている機器それぞれについて、厳密な構成情報を保持していなければならない。クレーマーでは、ネットワークをレコード化するのではなく、ネットワークをモデル化してリポジトリ上にネットワーク環境を「再現」していく。このネットワークの電子的レプリカをベ-

スに、各モジュールとアダプタ群がOSS内の各領域に対するインテリジェントなサポートを実現している。

図2はクレーマーが提供しているモジュール・デザインである。これらの「リソース主導のネットワーク・オペレーション」を実現するモジュールに加えて、それをOSS全域に波及させるためのアダプタ製品やオープンな技術的インタフェースも充実している。

クレーマーは、これまで複数のシステムによる個別管理が必須であった複雑かつ多様なネットワーク環境に対する統合管理を実現し、それをもとに様々なネットワーク・オペレーション、ひいては通信事業者のトータルなネットワーク・ビジネスを正確かつ高速にドライブするための「OSSのコア」を提供している。

#### お問い合わせ先

クレーマー・ジャパン株式会社  
TEL : 03-5219-1290  
URL : <http://www.cramer.jp/>